



↑ 栃木SCの選手の皆さん
左から、上形洋介選手、榊翔太選手、
牛之濱拓選手、坂田良太選手



↑ トークイベント会場では、選手のおすすめ本と、
東図書館で収集している新聞記事のスクラップブック
などを紹介しました

第217号の主な記事

- 1面 栃木SCトークイベント・読書生活
- 2面 栃木SCトークイベント・かわち図書館まつり
図書館のしごと
- 3面 図書館サービスあれこれ・調べ方のツボ
- 4面 しせつめぐり：第5回 うつのみや妖精ミュージアム



トッキー

→ シーズン中は、東図書館の入り口に
J3の順位表を置き、随時、試合結果
を更新しています

順位表	
1	栃木SC
2	アスルクラロ沼津
3	ブラウブリッツ秋田
4	カターレ富山
5	鹿児島ユナイテッドFC
6	AC長野パルセイロ

どしどし がたん

第217号
平成29年12月1日
宇都宮市立
中央図書館
東図書館
南図書館
上河内図書館
河内図書館

読めば
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA

私の積んどく人生

読書生活



点訳・音訳アドバイザー

こいけがみ あつし
小池上 惇

私達視覚障がい者の読書は点訳、音訳ボランティアの奉仕活動に支えられてきた。以前は手書きで点訳された点字図書やカセットテープに吹き込まれた音訳図書を図書館で保存し、郵便により読者に届けられていた。一度に送れるのは点字図書で2冊、テープで4本程度であったので、『徳川家康』や『新平家物語』など巻数の多い本は読み終わるまでに2、3年かかるのも珍しくはなかった。10年ほど前に「サピエ図書館」という電子図書館が誕生して、点訳や音訳データを保存し、ユーザーがインターネットを通じて自由にダウンロードし利用できるようになって、視覚障がい者の読書環境は激変した。私は、友達から紹介されたり、話題になったりした書物を、サピエ図書館にアクセスしてダウンロードしSDカードに保存している。これを点字データは点字電子手帳「ブレイルメモ」で読み、音声データはデジジー再生機「アレクストークリンクポケット」で聴いている。しかし、ボランティアグループなどの点訳本の校正をしているので、自分が本当に読みたいものはデータだけが増え、まさに「積んどく」という状態。なかなか読書を楽しむという訳にはいかないのである。

栃木SCトークイベント



↑ リラックスした様子の選手たち（左端：赤井さん、右端：スギ。さん）

宇都宮を拠点とするプロスポーツの関連資料を収集した「宇都宮プロスポーツアーカイブズコーナー」を展開する東図書館では、10月7日（土）に、ビジネス関連講座「うつのみやの魅力再発見（栃木SC編）」と題して、栃木SCトークイベントを開催しました。

栃木SCからは、4名の選手をお迎えし、約60名の参加者と楽しいひと時を過ごしました。

トークでは、司会の栃木SC公式応援ポーターのインスタントジョンソンスギ。さんと、元栃木SC選手の赤井秀行さんが、選手たちに10個ほどの質問を次々と投げかけました。

選手の皆さんは、「サッカー選手以外の職業なら何になりたいか」や「もしも宝くじで6億円当たったらどう使うか」などの質問にリラックスした様子で答え、普段は聞けない「ここだけの話」が飛び出すと、会場は大変盛り上がりました。

トークの最後には、選手たちからJ2昇格への意気込みが語られ、参加された方からは、「選手の人柄を知る良い機会になった」、「とても楽しい時間を過ごせました」などの感想が寄せられました。

トーク終了後は、参加者全員での記念撮影と、サイン会を行いました。持参した色紙やユニフォームなどにサインをもらった参加者は、とても満足そうでした。



かわち図書館まつり

10月1日（日）に、かわち図書館まつりを開催しました。市内で活動するマリーキュリーバンドの演奏や、鼓笛隊の元気あふれる演奏が「まつり」を盛り上げてくれました。

← かるた遊び



← 鼓笛隊の演奏



「かるた遊び」「スノードーム作り」「ハロウィンのアレンジメント」「しおり作り」「ブルーシート」「スーパースポールすくい」が子どもたちに人気でした。

河内図書館は今後も、地域の方々とのふれあいのきっかけ作りのため、各種イベントを実施していきます。イベント情報等をご確認ください。



↑ フラワーアレンジメント



～特別整理編～

各館で年に一度行われる「特別整理」。この期間には、蔵書点検の他にも、大がかりな配置替えや施設内の改修・補修など、開館中には出来ない作業を集中的に行っています。

蔵書点検は、資料を一点一点スキヤナーで読み取り、所在を確認すると共に、間違った場所に置かれた資料や、汚破損がある資料などを抜き取ります。その作業が終わると、所在不明とされた資料の確認や書架整理、清掃、資料の補修等を行います。

配置替えでは、書架の移動や新しいコーナーの設置等を行います。

このような作業を通じて、より利用しやすい図書館を目指しています。この期間中、皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



↑ 書架整理をしている様子

図書館サービス あれこれ

東図書館の「おはなし会」

市内の5図書館では、ボランティアの力を借りながら、様々な年齢の子どもたちを対象としたおはなし会を開催しています。家とは違った「図書館」という環境で、みなさんに楽しんでもいただけるよう、それぞれの図書館で工夫を凝らしたおはなし会を開催しています。

【年齢別おはなし会（全館）】

各図書館で、決まった曜日・時間に年齢別のおはなし会を開催しています。

*0・1・2歳のおはなし会…絵本の読み聞かせのほか、わらべうたや手遊びも行います。

*小さい子のおはなし会…3歳から未就学児向けに、絵本の読み聞かせを中心に行います。

*小学生のおはなし会…絵本の読み聞かせのほか、本を使わずにお話を語る、素話（すばなし）も行います。

【東図書館のおはなし会】

*パパと楽しむおはなし会…男性保護者と幼児を対象としたおはなし会です。絵本の読み聞かせのほか、わらべうたや、

男性保護者と一緒だからできる体を使った遊びも紹介しています。

*英語のおはなし会…英語絵本の読み聞かせのほか、アクティビティも取り入れています。



→おはなし会の様子



↑おはなし会で読み聞かせをした本のコーナー



↑東図書館 おはなしつ

東図書館のおはなしつには、お

はなし会で読んだ絵本や紙芝居が展示してあり、貸出しもできます。また、過去に読んだ本のリストもご覧になれます。

おはなしつは、プレイマットが敷いてありますので、おはなし会がない時には、ゆつくりと親子の読み聞かせなどにご利用ください。

通常のおはなし会のほか、特別なプログラムも用意しています。各図書館で配布している「おはなし会カレンダー」や、図書館ホームページでご案内していますのでご覧ください。

思いがけない絵本との出会いがあるかもしれません。ぜひ、おはなし会にいらしてください。

調べ方のツボ

実際に図書館で質問を受けた事例を紹介するコーナーです。

ファイル .. 23

宇都宮氏第十代当主宇都宮氏うじつなが詠んだ和歌が載った本を探している。



調べ方

まず、『宇都宮市史』（宇都宮市史編纂委員会／編 宇都宮市）で宇都宮氏と和歌の記載がないか調べました。すると、『宇都宮市史3 中世通史編』第4章に「宇都宮歌壇の誕生」という項目を見つけました。こちらに、宇都宮には地方歌壇の中で、鎌倉歌壇に次ぐ実力と歴史を有する歌壇が誕生したということが詳しく書かれており、この業績として残されているもので現存するのが『新式和歌集』（二荒山神社）であるとの記載がありました。

そこで、この『新式和歌集』を調べたところ、氏網の歌が『新千載和歌集』に載っていることが分かりました（P.223）。『新千載和歌集』は、『新編国歌大観』『校註国歌大系』に収録されています。この資料は、国立国会図書館デジタルコレクションの図書館送信資料に収められており、図書館内の利用者用インターネット端末で閲覧が可能です。

回答

宇都宮氏網が詠んだ和歌は、『新編国歌大観』1巻、『校註国歌大系』7巻に収録されていました。

参考資料

『宇都宮市史』宇都宮市史編纂委員会／編（宇都宮市）
『新式和歌集』石川速夫／校訂（二荒山神社 1976年）

ついでに

第5回 うつのみや妖精ミュージアム



うつのみや妖精ミュージアムは、本市出身で妖精研究の第一人者である井村君江さん（現・名誉館長）から、1万点を超える貴重な妖精関係資料を寄贈されたことを機に平成19年に開館しました。平成18年に本市出身の実業家齋藤文男さんから絵画や陶磁器などを寄贈されたことで、妖精資料がより充実したものになりました。

妖精に特化したミュージアムは、全国でも珍しく、県内外や国外からも多くの方が訪れます。今年開館10周年を迎え、これまでに約24万人が来館しています。

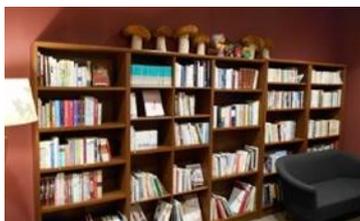
ミュージアムの中は、「妖精ライブラリー」「妖精博士の部屋」「妖精アートサロン」の3つのゾーンに分かれていて、それぞれ違った魅力があります。



↑ ミュージアム出入口には、素敵なスタンドグラスがあります

「妖精ライブラリー」は、妖精に関する絵本や書籍を集めたコーナーで、約1万冊の蔵書があります。季節に合った絵本や、水木しげるさんのマンガなどもあります。

残念ながら、本の貸出はできませんが、閲覧はできますので、読書で妖精の世界にひたるのはいかがでしょうか。



↑ 落ち着いた雰囲気「妖精ライブラリー」

「妖精博士の部屋」は、長年妖精研究をしてきたという博士の部屋です。



手をかざすとページがめくられる妖精図鑑があったり、チェストの引き出しを開けると、妖精がスライドに映し出されたりと、不思議で楽しいしかけがあちこちにあります。

→ 突然現れるドラゴン!?!?

「妖精アートサロン」では、妖精に関する絵画や陶器、貴重本などが展示されています。年1回の企画展のほか、時節に合わせて年4回、書物など展示物の一部入れ替えています。20世紀初頭に、英国で妖精の写真が撮影され話題となった、「コティンダリー妖精事件」で使われた同機種のカメラやガラス原版の複製品など、とても貴重なものもあります。

また、毎月第4土曜日には、ボランティアの方による読み聞かせ、毎月第1土曜日には、井村名誉館長によるギャラリートークを開催しています。

■担当からの一言
小さなお子さんから大人の方まで楽しめる施設なので、妖精と触れ合いに、ぜひ一度いらしてください。



↑ 田口順一副所長

うつのみや妖精ミュージアム

- 所在地 〒320-0026
宇都宮市馬場通り4-1-1
うつのみや表参道スクエア内
市民プラザ5階
- 連絡先 028-616-1573
- 休館日 年末年始
毎月第1月曜日
- 開館時間
午前9時～午後7時
- ホームページ
<http://www2.ucatv.ne.jp/~ufairy-m/>

館報としょかん 第217号

ホームページ <http://www.lib-utsunomiya.jp/>
(編集発行)

中央図書館	明保野町7番57号	〒320-0845	TEL028-636-0231
東図書館	中今泉3丁目5番1号	〒321-0968	TEL028-638-5614
南図書館	雀宮町56番地1	〒321-0121	TEL028-653-7609
上河内図書館	中里町182番地1	〒321-0414	TEL028-674-1123
河内図書館	中岡本町3397番地	〒329-1105	TEL028-673-6782



◆編集後記

図書館のおはなし会は、読み聞かせボランティアの方々のおかげで行えませんが、ほかに、書架整理など、いろいろなボランティアの方が活躍されています。図書館は、市民の皆さんに支えられています。(東)